

7.0型ワイドAVシステムTV

AVX-P7000W

取扱説明書

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

[使用方法]

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画質の調整を行うときは、画面を長く見る必要があります。自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

[異常時の処置]

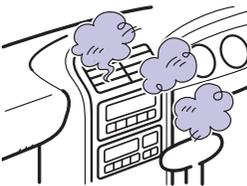
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

[使用方法]

モニター部にヒーター熱を当てない



必ず行う

モニター部にヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になるとモニター部が高温になり、故障や火傷の原因となることがあります。

目次

はじめに

上手にお使いいただくために	6
リモコンの準備	7
各部のなまえと主な働き	8

準備

モニター部を立ち上げる/ 角度を調節する/収納する	10
------------------------------	----

テレビを見る

テレビのふだんの操作	
(1) パイオニア製のDVD ナビゲーションシステムと組み 合わせた場合	12
自動選局する	
(2) パイオニア製のIP-BUS入力 付きメインユニットと組み 合わせた場合	14
バンドを選ぶ	
自動選局する	
(3) お手持ちのFM付きカーステ レオと組み合わせた場合	16
バンドを選ぶ	
自動選局する	
複数のチャンネルを記憶させる	18
記憶させたチャンネルを受信する	19
チャンネルを確認する	20
2カ国語放送の副音声を聞く	21

いろいろな映像を見る

ナビゲーションやビデオの映像を見る	
(1) パイオニア製のDVD ナビゲーションシステムと組み 合わせた場合	22
(2) パイオニア製のIP-BUS入力 付きメインユニットと組み 合わせた場合	24
(3) お手持ちのFM付きカーステ レオと組み合わせた場合	26

メインユニットで操作する

本機と組み合わせる メインユニットについて	28
メインユニットでのテレビの操作	29

いろいろな設定と調整

設定メニューの基本的な操作	34
設定メニューを表示する	
項目を選ぶ	
決定する	
映像の明暗や色を調整する	36
液晶画面の明るさを調整する	37
映像の入力と音声の出力の 設定をする	38
音声をFM電波で飛ばす	39
FMトランスミッターの レベルを調整する	40
モニターの立ち上げの設定をする	41
ワイド画面の拡大のしかたを変える	42
内蔵スピーカーから出力される 音声を選ぶ	44

C O N T E N T S

付録

モニターの正しい使いかた	46
故障かな?と思ったら	48
リセットについて	49
保証書とアフターサービス	50
仕様	51

NAVI MASTER

AUDIO MASTER

TV MASTER

共通

組み合わせたシステムやモードの切り換えによって、一部操作が異なります。組み合わせたシステムやモード ( 6 ページ) に合った項目をお読みください。

はじめに

準備

テレビを見る

いろいろな映像を見る

メインユニットで操作する

いろいろな設定と調整

付録

メモ

この説明書の中の画面は一例です。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

上手にお使いいただくために

安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)また、走行中に設定メニュー (☞ 34ページ) は操作できません

例：テレビを見ようとしたとき



このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけることで解除されます。

組み合わせるシステムについて

本機は組み合わせるシステムによって、一部の操作が異なります。

(1) パイオニア製のDVDナビゲーションシステムと組み合わせる場合

本機は、NAVI MASTERモード (☞ 取付説明書) で使用します。

操作は、本機とDVDナビゲーションで行います。(☞ 別冊の「DVDリコモン」で操作する)

DVDナビゲーションシステム「AVIC-D9000」または「AVIC-D7000」と組み合わせる場合は

「AVIC-D9000」および「AVIC-D7000」の説明書に、本機と組み合わせる場合の操作方法が記載されています。それぞれの説明書を参照して、正しく操作してください。

(2) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合

本機は、AUDIO MASTERモード (☞ 取付説明書) で使用します。

音声は、メインユニットのテレビソースから出力されます。

操作は、本機とメインユニットで行います。

(メインユニットでの操作については ☞ 28ページ)

(3) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせる場合

本機は、TV MASTERモード (☞ 取付説明書) で使用します。

音声は、カーステレオのラジオのFMから出力されます。

操作は、すべて本機で行います。

必ず、[黒の濃さ] や液晶画面の明るさを調整してください

液晶モニターは、構造上きれに見える角度が限られていますが、左右方向の角度は [黒の濃さ] を調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれに見えるように、見る角度に合わせて [黒の濃さ] を調整してください。また、液晶の画面自体の明るさも変更できますのでお好みに応じて調整してください。(36、37ページ)

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。車のエンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

リモコンの準備

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返して電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2032) を、⊕側を上にしてセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコン取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本機のリモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、リモコンを受光部に近づけて操作してください。

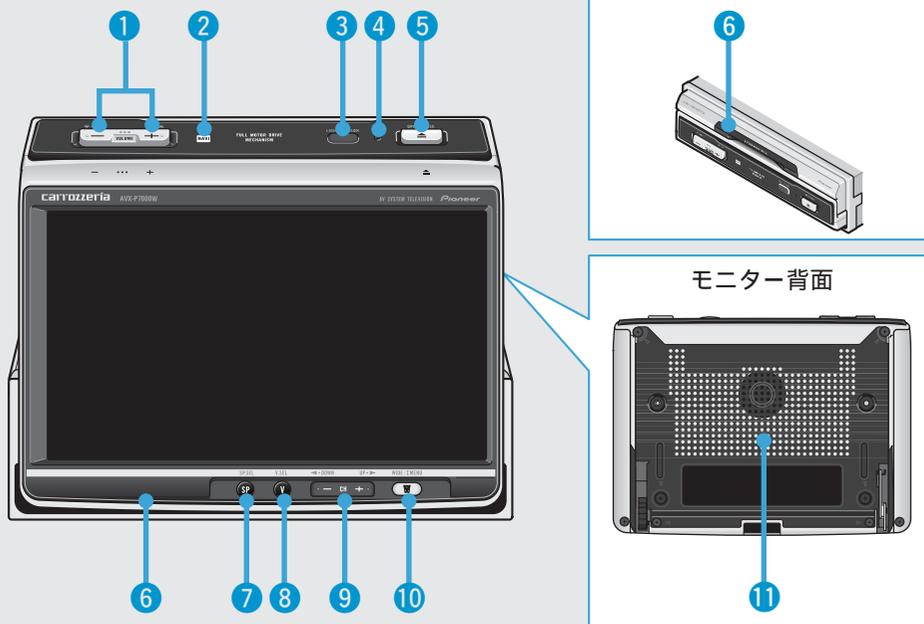
付属の電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

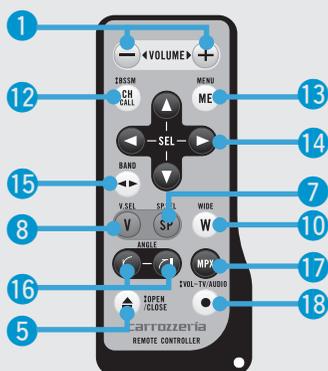
電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

各部のなまえと主な働き

本体



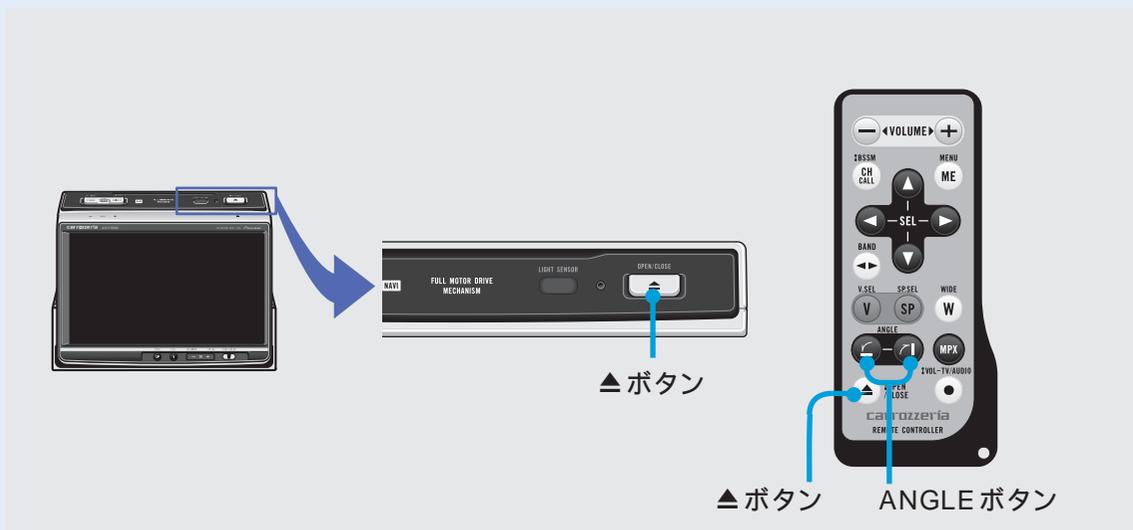
リモコン



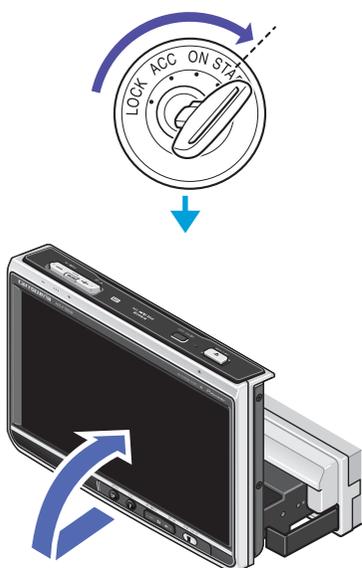
- ボリューム
- ① VOLUME ボタン
内蔵スピーカー (⑪) の音量を調整できます。
- ② NAVI 電源ランプ
20 ピンRGB 入力 (☞ 取付説明書) に接続したナビゲーションの電源が入っているときに、橙色に点灯します。
- ③ 外光センサー
周囲の明るさを感知します。本機では、周囲の明るさに合わせて、自動的に液晶画面の明るさを調整することができます。
(☞ 37 ページ)
- ④ リセットボタン (☞ 49 ページ)
- オープン/クローズ
- ⑤ ▲ ボタン (☞ 10 ページ)
モニター部の立ち上げと収納を行うことができます。
- ⑥ リモコン受光部
- スピーカーセレクト
- ⑦ SP. SEL ボタン (☞ 44 ページ)
内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶことができます。
- ビジュアルセレクト
- ⑧ V. SEL ボタン
(☞ 12、14、16、22、24、26 ページ)
見たい映像に切り換えることができます。
- チャンネル
- ⑨ CH ボタン (☞ 13、15、17 ページ)
テレビのチャンネルなどを切り換えることができます。
- ワイドモード
- ⑩ WIDE MODE ボタン (☞ 42 ページ) および
メニュー
MENU ボタン (☞ 34 ページ)
ワイド画面の拡大のしかたを変えることができます。
また、設定メニューを選ぶことができます。
- ⑪ 内蔵スピーカー
テレビの音声やナビゲーションのガイド音声
が出力されます。
- チャンネルコール
- ⑫ CH CALL ボタン (☞ 20 ページ) および
ベストステーションズシーケンシャルメモリー
BSSM ボタン (☞ 18 ページ)
受信中のチャンネルなどの情報を表示させる
ことができます。
また、受信状態の良いチャンネルを、自動的
に記憶させることができます。
- メニュー
- ⑬ MENU ボタン (☞ 34 ページ)
設定メニューを選ぶことができます。
- ⑭ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン
設定 MENU などを ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンで調整
することができます。
- バンド
- ⑮ ◀ ▶ ボタン (☞ 16 ページ)
テレビのバンドを選ぶことができます。
- アングル
- ⑯ ANGLE ボタン (☞ 11 ページ)
立ち上がったモニター部の角度を調節するこ
とができます。
- マルチプレックス
- ⑰ MPX ボタン (☞ 21 ページ)
主音声または副音声だけを聞くことができ
ます。
- ⑱ 動作モード切り換えボタン
2 秒以上押すごとに、メインユニットと本機
のモードに切り換えができます。
メインユニットのモードに切り換えると、メ
インユニットの音量調整や BAND 切り換え
が操作できます。
メインユニットモードでお使いの場合に、リモ
コンの電池を交換したときは本機のモードに
なることがあります。その場合はもう一度切り
換えてください。

① VOLUME ボタン (ナビゲーションが ON の場合)、④ リセットボタン、⑤ ▲ ボタン以外のボタンは、モニター部が収納された状態では働きません。モニター部を立ち上げてから (☞ 10 ページ) 操作してください。

モニター部を立ち上げる / 角度を



1 車のエンジンをかける



自動開閉機能 (👉メモ) により、自動的にモニター部が立ち上がります。

モニター部が自動的に立ち上がらない場合は

本体
▲ボタンを押す



リモコン
▲ボタンを2秒以上押す



調節する / 収納する

2 画面を見やすい角度に調節する

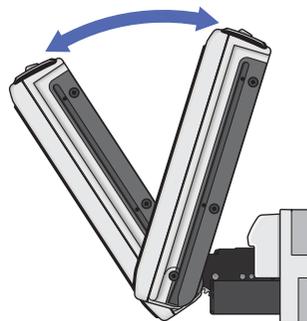
ANGLE ボタンを押す



画面を上向きにするとき



画面を下向きにするとき



メモ

調節したモニター部の角度は記憶され、再びモニター部を立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

角度の調節は、手動で行わないでください。モニター部に強い力が加わると、故障することがあります。

共通

3 モニター部を本体に収納する

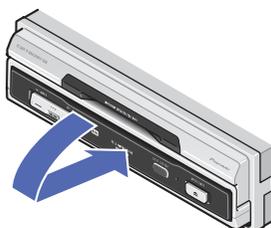
本体

▲ボタンを押す



リモコン

▲ボタンを2秒以上押す



モニター部を収納するときは、モニター部が完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、そのまま放置すると故障することがあります。

メモ

モニター部は自動開閉機能によって、次のように動作します。

- * モニター部を立ち上げたまま車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニター部が本体に収納されます。再びエンジンスイッチをON (またはACC) にすると、自動的にモニター部が立ち上がります。
- * NAVI MASTERモードの場合は、ナビゲーションの電源をONにすると、約2秒後に自動的にモニター部が立ち上がります。
(12、22ページ)
- * 自動開閉機能は、解除することもできます。
(41ページ)

本体にモニター部を収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON (またはACC) にしてもモニター部は立ち上がりません。▲ボタンを押して立ち上げてください。

立ち上がったモニター部を後ろに下げることができます (セットバック機能)。(41ページ)

ナビゲーションの電源がONの場合は、ナビゲーションのガイド音声以外の音声を内蔵スピーカーから出力していても、モニター部を本体に収納するとナビゲーションのガイド音声に切り換わります。再び、モニター部を立ち上げれば収納前の音声に戻ります。

準備

テレビのふだんの操作

自動選局する

(1) パイオニア製のDVDナビゲーションシステムと組み合わせた場合

1 ナビゲーションの電源を入れる

約2秒後、モニター部が自動的に立ち上がります。(自動開閉機能がONのとき)
映像をナビゲーションにしてください。
(☞ 手順3)

2 ナビゲーションの音声ソースを“TV”にする

ナビゲーションの映像を表示してから、DVDナビゲーションのリモコンのSOURCEボタンを押して、ナビゲーションの音声ソースを“TV”に切り換えてください。(☞ DVDナビゲーションの取扱説明書、または別冊の「DVDリモコンで操作する」)



3 テレビの映像にする

V.SEL ボタンを押す
本体



リモコン



ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。

テレビの映像



約8秒間表示されます。

- TV テレビの映像
↓
テレビの映像を見るとき
- NAVI ナビゲーションの映像
(☞ 22ページ)
- ↓
- VTR ビデオの映像
(☞ 22ページ)

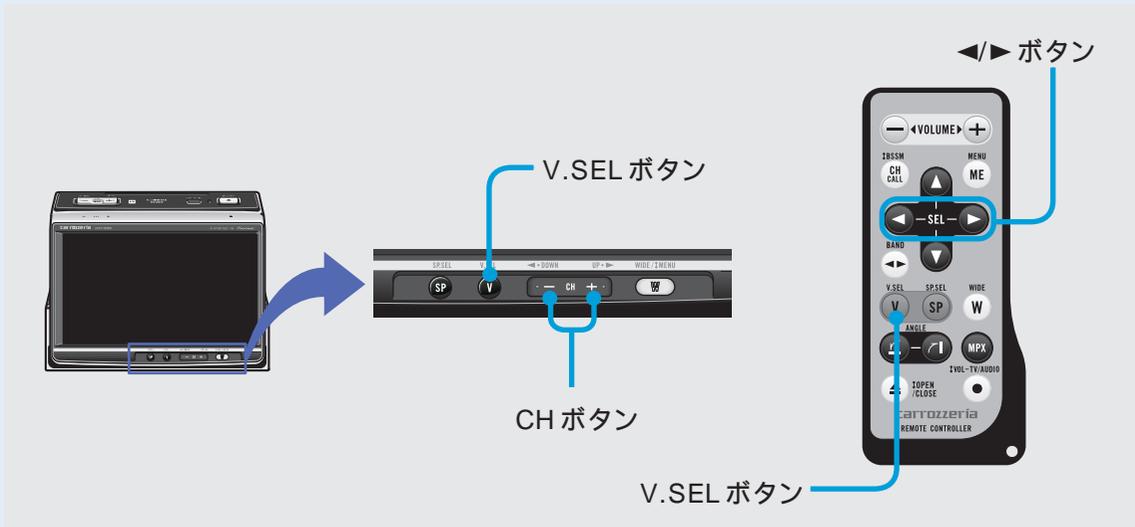
4 メインユニットのAUXで音声を聞く

メインユニットのAUX (外部機器) の設定をONにしてソースをAUXにする
(メインユニットの取扱説明書参照)

手順4、6の説明はパイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと接続した場合の操作例です。お手持ちのFM付きカーステレオでお聞きになる場合は、“(3) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合 (TV MASTERモード)”を参照してテレビの音声をお聞きください。(☞ 16ページ)

メモ

本機の音声出力の設定 (☞ 38ページ) が“GUIDE”または“VTR”になっているときは、テレビの音声は出力されません。音声出力の設定は“TV”に切り換えてください。



5 チャンネルを 選局する

CH ボタンまたは ◀▶ ボタンを押す
本体 リモコン



- + または ▶ : チャンネルを大きくするとき
- または ◀ : チャンネルを小さくするとき

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

受信チャンネル



通常は、受信チャンネルは緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると“STEREO”が表示され、受信チャンネルが黄色で表示されます。また、2カ国語放送を受信すると“BILINGUAL”が表示され、受信チャンネルが赤色で表示されます。

テレビを見る

6 メインユニットの 音量を調節する

メインユニットの取扱説明書参照

メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声も聞くことができます。)

テレビのふだんの操作

バンドを選ぶ

(2) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合

1 メインユニットのソースをテレビにする (☞ 28ページ)

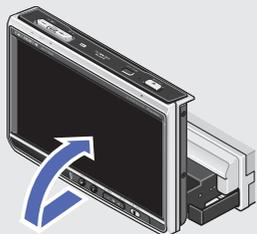
テレビの音声が出力されます。

メモ

本機の音声出力の設定 (☞ 38ページ) が “GUIDE” または “VTR” になっているときは、テレビの音声は出力されません。音声出力の設定は “TV” に切り換えてください。

モニター部が収納されていたらモニター部を立ち上げる

▲ボタンを押す



メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声も聞くことができます。)

バンドを選ぶときは、必ずメインユニットでバンドを切り換えてください。(☞ 28ページ)

選局は、メインユニットでも操作できます。(☞ 28ページ)

2 テレビの映像にする

V.SEL ボタンを押す

本体

リモコン



ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。

テレビの映像



約8秒間表示されます。

- ▶ TV テレビの映像
テレビの映像を見るとき
- ▼ NAVI ナビゲーションの映像
(☞ 24ページ)
- ▼ VTR ビデオの映像
(☞ 24ページ)

3 メインユニットで見たいバンドを選ぶ (☞ 34ページ)

メインユニットの取扱説明書参照



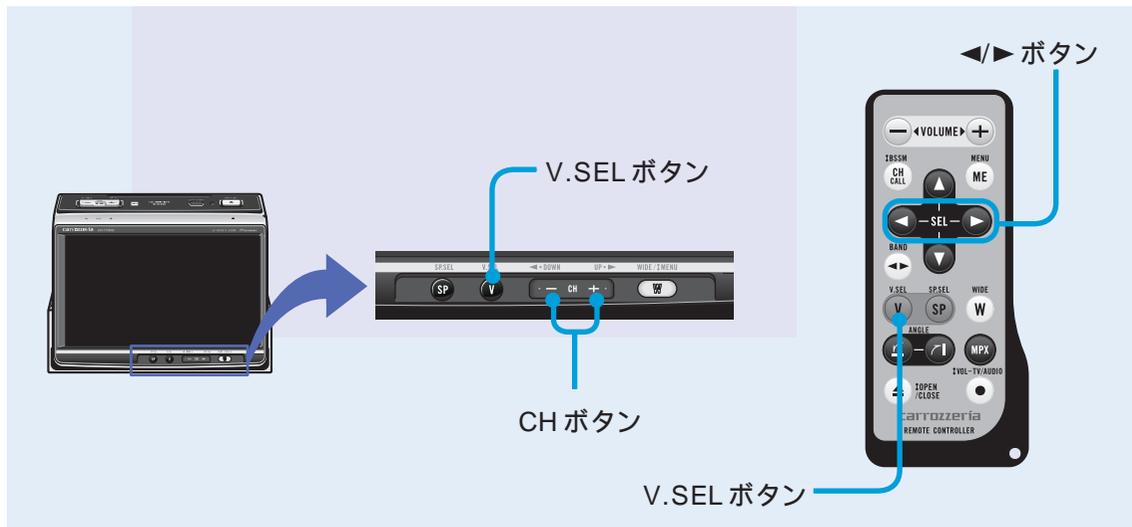
TV1 ↔ TV2

より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1とTV2に分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62CHです。)

自動選局する

(AUDIO MASTERモード)

バンド切り換え / 自動選局



AUDIO MASTER

4 チャンネルを 選局する

CH ボタンまたは◀▶ ボタンを押す
本体 リモコン



- + または ▶ : チャンネルを大きくするとき
- または ◀ : チャンネルを小さくするとき

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

受信チャンネル



通常は、受信チャンネルは緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると“STEREO”が表示され、受信チャンネルが黄色で表示されます。また、2カ国語放送を受信すると“BILINGUAL”が表示され、受信チャンネルが赤色で表示されます。

テレビを見る

5 メインユニットで 音量を調節する

メインユニットの取扱説明書参照

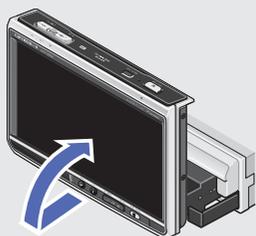
テレビのふだんの操作

バンドを選ぶ

(3) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合

モニター部が収納されていた
らモニター部を立ち上げる

▲ ボタンを押す



1 テレビの映像にする

V.SEL ボタンを押す

本体



リモコン



ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。

テレビの映像



約8秒間表示されます。

- TV テレビの映像
↓ テレビの映像を見るとき
- NAVI ナビゲーションの映像
↓ (☞ 26 ページ)
- VTR ビデオの映像
↓ (☞ 26 ページ)

2 見たいバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す



TV1 ↔ TV2

より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1とTV2に分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62 CHです。)

3 カーステレオでテレビの音声を聞く

カーステレオのラジオで、FM トランスミッターで設定した周波数を受信する

(☞ 39 ページ)

カーステレオのスピーカーからテレビの音声が出力されます。

メモ

本機の音声出力の設定 (☞ 38 ページ) が“GUIDE”または“VTR”になっているときは、テレビの音声は出力されません。音声出力の設定は“TV”に切り換えてください。

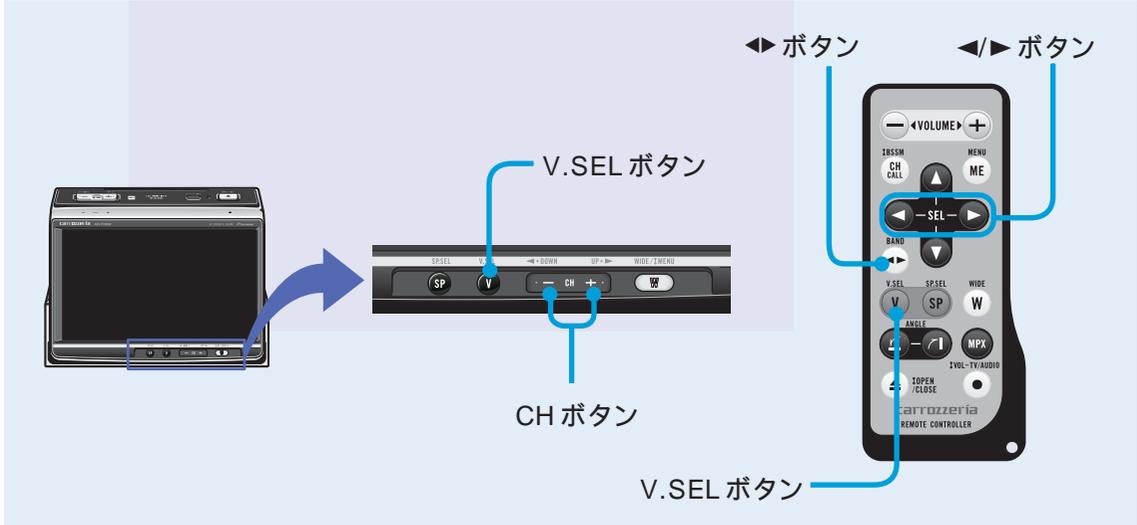
テレビの音声がFM放送と混信する場合は、ほかの送信周波数に変えてください。

(☞ 39 ページ)

自動選局する

(TV MASTERモード)

バンド切り換え / 自動選局



4 チャンネルを選局する

CH ボタンまたは \leftarrow/\rightarrow ボタンを押す
本体 リモコン



- + または > : チャンネルを大きくするとき
- または < : チャンネルを小さくするとき

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

受信チャンネル



通常は、受信チャンネルは緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると“STEREO”が表示され、受信チャンネルが黄色で表示されます。また、2カ国語放送を受信すると“BILINGUAL”が表示され、受信チャンネルが赤色で表示されます。

5 カーステレオで音量を調節する

カーステレオの説明書参照

メモ

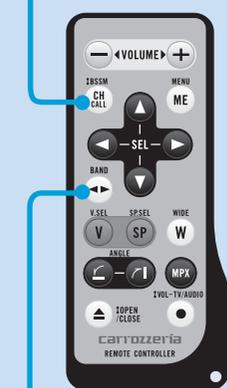
走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声も聞くことができます。)

複数のチャンネルを記憶させる

BSSM

受信状態の良いチャンネルをさがして、チャンネルの小さい順に記憶させることができます。TV1とTV2で (NAVI MASTERのときは、TV2はありません。) それぞれ12局を一度に記憶します。(TV1のバンドには、あらかじめVHF1～12 CHが記憶されています。)

BSSM ボタン



◀▶ ボタン

メモ

AUDIO MASTERモードの場合は、メインユニットでも操作することができます。また、好きな記憶番号に受信中のチャンネルを記憶させることもできます [プリセットメモリー]。

(28ページ)

もう一度BSSMボタンを2秒以上押し、記憶動作を途中で解除することができます。しかし、記憶内容は正しく記憶されていないので、再度BSSMを行ってください。

受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー) の略です。

記憶させたチャンネルを受信するには (19ページ)

1 記憶させるバンドを選ぶ

NAVI MASTERのとき

NAVI MASTERのときは、1バンドです

AUDIO MASTERのとき

メインユニットの◀▶ボタンでバンドを選ぶ (28ページ)

TV MASTERのとき

リモコンの◀▶ボタンでバンドを選ぶ

2 BSSM を始める

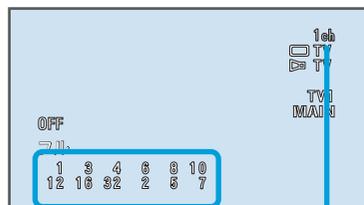
BSSM ボタンを
2秒以上押し



B S S M

記憶動作中に表示されます。受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。

記憶動作が終わると



記憶したチャンネルが、記憶順に一覧表示されます。

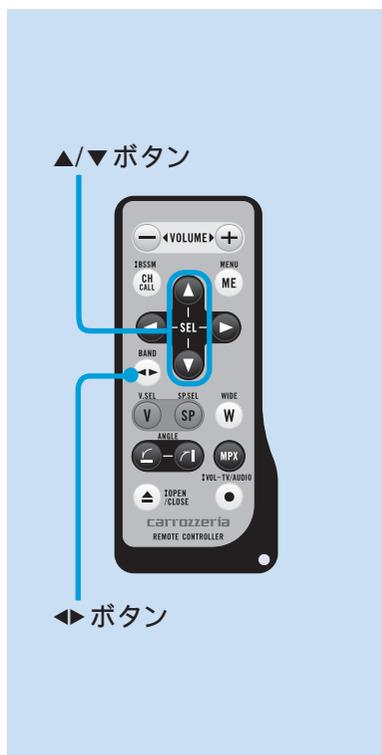
記憶したチャンネルを受信します。

記憶させたチャンネルを受信する

プリセット選局

記憶させたチャンネルを、本機の操作で簡単に受信することができます。

チェック AUDIO MASTERモードでお使いの場合は、メインユニットで操作します。(👉 28ページ)



1 受信するバンドを選ぶ

NAVI MASTERのとき
NAVI MASTERのときは、1バンドです

AUDIO MASTERのとき
メインユニットの◀▶ボタンでバンドを選ぶ(👉 28ページ)

TV MASTERのとき
リモコンの◀▶ボタンでバンドを選ぶ

2 記憶させたチャンネルを呼び出す

NAVI MASTERまたはTV MASTERのとき
リモコンの▲または▼ボタンを押す



記憶させた次のチャンネルを呼び出すとき

記憶させた前のチャンネルを呼び出すとき

AUDIO MASTERのとき
メインユニットの▲または▼ボタンを押す(👉 28ページ)



記憶したチャンネル

共通

テレビを見る

チャンネルを確認する

チャンネルコール/プリセット一覧

受信中のチャンネルやバンドなど、現在の受信状態を表示させることができます。また、現在のバンドに記憶されているチャンネルを、一覧表示させることもできます。

CH CALL ボタン

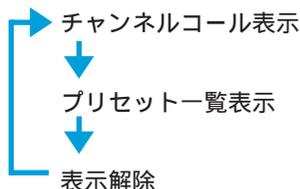


表示する

CH CALL ボタンを押す

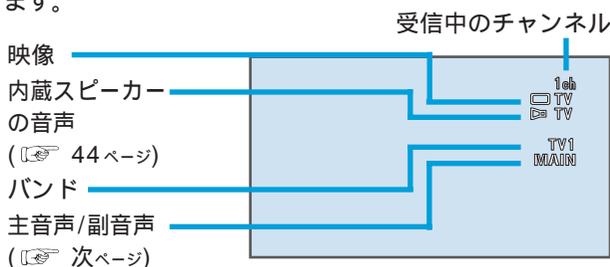


ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

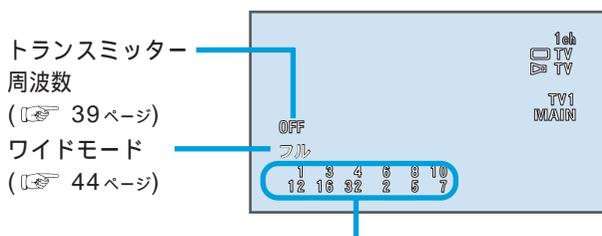


チャンネルコール表示およびプリセット一覧表示は、約8秒間表示されます。

チャンネルコール表示



プリセット一覧表示



記憶されているチャンネルおよび設定が表示されます。

2カ国語放送の副音声を聞く

主音声/副音声切り換え

2カ国語放送(音声多重放送)を受信しているときは、主音声(日本語)や副音声(外国語)だけを聞くことができます。



MPX ボタン

聞きたい音声を 選ぶ

MPX ボタンを押す



ボタンを押すごとに次のように音声が切り換わります。



- MAIN 主音声
日本語だけを聞けます。
- SUB 副音声
外国語だけを聞けます。
- M + S 主音声 + 副音声
日本語と外国語の両方を聞けます。

共通

テレビを見る

メモ

AUDIO MASTERモードの場合は、メインユニットでも操作することができます。

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。

2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語(例えば英語)で放送します。(逆の場合もあります。)

ナビゲーションやビデオの映像を見る

(1) パイオニア製のDVDナビゲーションシステムと組み合わせた場合

DVDナビゲーションを本機に接続すると (☞ 取付説明書)、DVDナビゲーションのモニターとして使用することができます。また、8 mmビデオやポータブルビデオを本機の映像/音声入力端子に接続すると (☞ 取付説明書)、その映像を楽しむことができます。

NAVI 電源ランプ
ナビゲーションの電源が入っているときに、橙色に点灯します。



V.SEL ボタン



V.SEL ボタン

1 ナビゲーション、ビデオの電源を入れる

DVDナビゲーションまたはビデオの説明書参照

ナビゲーションの電源を入れると、モニター部が自動的に立ち上がります。(自動開閉機能がONのとき)

ビデオを見るときは、ナビゲーションの電源を入れてから、ビデオの電源を入れてください。

映像をナビゲーションにしてください。
(☞ 手順3)

2 ナビゲーションの音声ソースを“TV”にする

ナビゲーションの映像を表示してから、DVDナビゲーションのリモコンのSOURCEボタンを押して、ナビゲーションの音声ソースを“TV”に切り換えてください。(☞ DVDナビゲーションの取扱説明書、または別冊の「DVDリモコンで操作する」)



3 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V.SEL ボタンを押す

本体



リモコン



ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。



- TV テレビの映像
(☞ 12ページ)
- NAVI ナビゲーションの映像
ナビゲーションの映像を見るとき
- VTR ビデオの映像¹
ビデオの映像を見るとき

4 ナビゲーションまたはビデオの音声を出力する

ナビゲーションのガイド音声を聞く場合
音声出力の設定を“GUIDE”にすると(☞ 38ページ)、カーステレオのスピーカーからナビゲーションのガイド音声が出力されます。

ビデオの音声を聞く場合

音声出力の設定を“VTR”にすると(☞ 38ページ)、カーステレオのスピーカーからビデオの音声が出力されます。

5 メインユニットのAUXで音声を聞く

メインユニットのAUX (外部機器) の設定をONにしてソースをAUXにする
(メインユニットの取扱説明書参照)

手順5、6の説明はパイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと接続した場合の操作例です。お手持ちのFM付きカーステレオでお聞きになる場合は、“(3) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合(TV MASTERモード)”を参照してナビゲーションのガイド音声またはビデオの音声をお聞きください。(☞ 26ページ)

6 メインユニットで音量を調節する

メインユニットの取扱説明書参照

メモ

¹ 映像入力の設定がONになっていないときは、VTRには切り換わりません。(☞ 38ページ)

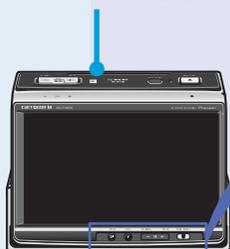
メインユニットのソースをAUX以外にしたとき、ナビゲーションまたはビデオの映像を見ながらメインユニットの各ソースの音声を聞くことができます。

ナビゲーションやビデオの映像を見る

(2) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合

CD-ROMナビゲーションを本機に接続すると (☞ 取付説明書)、ナビゲーションのモニターとして使用することができます。また、8 mmビデオやポータブルビデオを本機の映像/音声入力端子に接続すると (☞ 取付説明書)、その映像を楽しむことができます。

NAVI 電源ランプ
ナビゲーションの電源が入っているときに、橙色に点灯します。



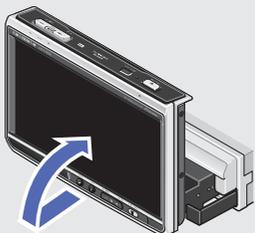
V.SEL ボタン



V.SEL ボタン

モニター部が収納されていたらモニター部を立ち上げる

▲ ボタンを押す



1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

ナビゲーションまたはビデオの説明書参照

2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V.SEL ボタンを押す

本体



リモコン



ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。



TV テレビの映像
(☞ 14 ページ)

NAVI ナビゲーションの映像 ¹
ナビゲーションの映像を見るとき

VTR ビデオの映像 ²
ビデオの映像を見るとき

3 ナビゲーションまたはビデオの音声を出力する

ナビゲーションのガイド音声を聞く場合
CD-ROMナビゲーションのガイド音声は、
カーステレオのスピーカーから出力され
ません。内蔵のスピーカーから出力して
ください。

( 44ページ)

ビデオの音声を聞く場合

音声出力の設定を“VTR”にすると( 38ページ)、
カーステレオのスピーカーから
ビデオの音声が出力されます。

4 メインユニットのソースをテレビにする (28ページ)

5 メインユニットで音量を調節する

メインユニットの取扱説明書参照

メモ

¹ CD-ROMナビゲーションが20ピンRGB入力に接続されていないときは、ナビゲーションには切り換わりません。

² 映像入力の設定がONになっていないときは、VTRには切り換わりません。( 38ページ)

メインユニットのソースをテレビ以外にしたとき、ナビゲーションまたはビデオの映像を見ながらメインユニットの各ソースの音声を聞くことができます。

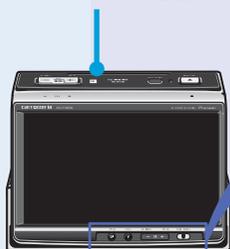
RCA映像/音声入力にナビゲーションを接続した場合は、ビデオとして扱われます。

ナビゲーションやビデオの映像を見る

(3) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合

CD-ROMナビゲーションを本機に接続すると (👉 取付説明書)、ナビゲーションのモニターとして使用することができます。また、8 mmビデオやポータブルビデオを本機の映像/音声入力端子に接続すると (👉 取付説明書)、その映像を楽しむことができます。

NAVI 電源ランプ
ナビゲーションの電源が入っているときに、橙色に点灯します。



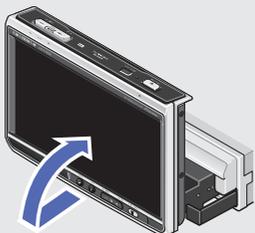
V.SEL ボタン



V.SEL ボタン

モニター部が収納されていたらモニター部を立ち上げる

▲ ボタンを押す



1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

ナビゲーションまたはビデオの説明書参照

2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V.SEL ボタンを押す

本体



リモコン



ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。



TV テレビの映像
(👉 16 ページ)

NAVI ナビゲーションの映像 ¹
ナビゲーションの映像を見るとき

VTR ビデオの映像 ²
ビデオの映像を見るとき

3 ナビゲーションまたはビデオの音声を出力する

ナビゲーションのガイド音声を聞く場合
CD-ROMナビゲーションのガイド音声は、カーステレオのスピーカーから出力されません。内蔵のスピーカーから出力してください。

(☞ 44ページ)

ビデオの音声を聞く場合

音声出力の設定を“VTR”にすると(☞ 38ページ)、カーステレオのスピーカーからビデオの音声が出力されます。

4 カーステレオでビデオの音声を聞く

カーステレオのラジオで、FMトランスミッターで設定した周波数を受信する

(☞ 39ページ)

カーステレオのスピーカーからビデオの音声が出力されます。

メモ

ビデオの音声FM放送と混信する場合は、ほかの送信周波数に変えてください。

(☞ 39ページ)

5 カーステレオで音量を調節する

カーステレオの説明書参照

メモ

¹ CD-ROMナビゲーションが20ピンRGB入力に接続されていないときは、ナビゲーションには切り換わりません。

² 映像入力の設定がONになっていないときは、VTRには切り換わりません。(☞ 38ページ)

RCA映像/音声入力にナビゲーションを接続した場合は、ビデオとして扱われます。

本機と組み合わせるメインユニットについて

AUDIO MASTER モードでは、本機のテレビの操作は、本機とメインユニットで行います。

組み合わせるメインユニットの種類について

本機をコントロールできるメインユニットは、操作方法の違いによって、3種類に分けられます。

① 本機をテレビソースとしてコントロールするメインユニット (☞ 次ページ)

DEX-P1/DEH-P9000/DEH-P900/DEH-P707/DEH-P7000/DEH-P700/DEH-P5000/DEH-P505/DEH-P500

MEH-P9000/MEH-P707/MEH-P800/MEH-P5000

KEH-P600/KEH-P5000/KEH-P400/KEH-P303/KEH-P1000

FH-P9000MD/FH-P909MD/FH-P900MD/FH-P7000MD/FH-P707MD/FH-P5000MD/FH-P505MD

FH-P700/FH-P6000/FH-P606/FH-P4000/FH-P404

② 本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット (☞ 次ページ)

KEH-P300

③ 旧モデルのメインユニット (☞ メインユニットの取扱説明書)

[本機をテレビソースとしてコントロールします。]

DEH-P990/DEH-P660/DEH-P550/DEH-P99

DEX-P9/DEX-P7

KEH-P880/KEH-P770/KEH-P440/KEH-P330/KEH-P88/KEH-P77/KEH-P55/KEH-P44/KEH-P33

FH-P80M/FH-P80

(旧モデルのメインユニットでのテレビの操作は、メインユニットの取扱説明書に記載されていますので、そちらをご覧ください。)

メモ

本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット「KEH-P300」は、エクスターナルユニットを2台以上コントロールすることができません。本機を接続したときは、ほかのエクスターナルユニットは接続しないでください。

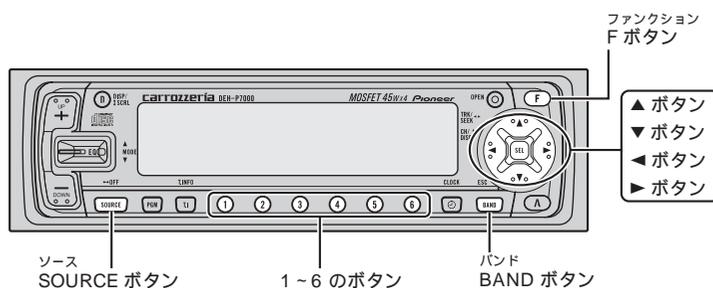
「KEH-P300」がエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするユニットには、本機のほかに、1枚型MD「MDS-P700」、マルチMD「MD-P100II」、ボイスコントロールディスクセレクター「CD-VC50」があります。

メインユニットでのテレビの操作

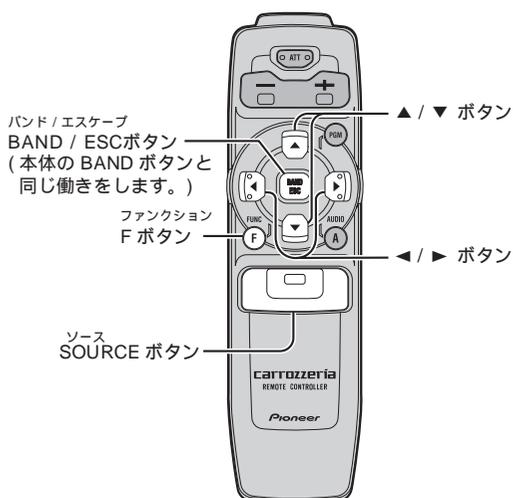
メインユニットでのテレビの操作は、次のメインユニットのボタン名称と、30ページの機能対応表を参照して、行ってください。

メインユニットのボタン名称

例：「DEH-P7000」



例：「DEH-P7000」に付属のリモコン



メモ

DEH-P7000以外のメインユニットをお使いの場合は、メインユニットの取扱説明書を参考にして、同じ機能のボタンで操作を行ってください。

DEH-P7000以外のメインユニットの取扱説明書では、リモコンという名称をメインコントローラーと記載されている場合があります。本書では、メインコントローラーについてもリモコンとして、説明させていただきます。

メインユニットでのテレビの操作 (つづき)

メインユニット ① 本機をテレビソースとしてコントロールするメインユニット¹ (☞ 28ページ)
 メインユニット ② 本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット
 (☞ 28ページ)

機能対応表

機能名称	☞	項目	メインユニット ①	メインユニット ②
ソース切り換え	-	操作	本体 SOURCE/SO (ソース)	SO (ソース)
		リモコン ²	☞ /SOURCE	--- ³
バンド切り換え	14	操作	本体 ◀▶ (バンド)	◀▶ (バンド)
		リモコン ²	◀▶ /BAND	◀▶
プリセット メモリー ⁴	-	操作	本体 1 ~ 6 (2秒以上) ⁵	1 ~ 6 (2秒以上) ⁵
		リモコン ²	--- ⁶	---
プリセット選局 (ダイレクト選局)	-	操作	本体 1 ~ 6 ⁷	1 ~ 6 ⁸
		リモコン ²	--- ⁶	---
プリセット選局 (アップ/ダウン)	19	操作	本体 ▲ / ▼	--- ⁹
		リモコン ²	▲ / ▼	--- ⁹
ファンクション モードの切り換え ¹⁰	-	操作	本体 F	F
		リモコン ²	F	F
ファンクション モードの切り換え ¹⁰	-	動作	BSSM MONO (モノラル受信) ¹² MPX (音声切り換え) SEEK (選局モード切り換え)	FUNC1 (プリセットスキャン ¹¹ /BSSM) FUNC2 (モノラル受信) FUNC3 (音声切り換え) FUNC4 (使用しない) ¹³ TRACK (選局モード切り換え)

メモ

¹ 「DEX-P1」は、主にリモコンで操作をします。本体には無く、リモコンだけのボタンもあります。

² 「DEH-P505」, 「DEH-P500」, 「KEH-P400」, 「KEH-P303」, 「KEH-P300」は別売のリモコン「CD-R66」で操作します。
 「DEH-P5000」, 「KEH-P5000」, 「MEH-P5000」, 「KEH-P1000」は別売のリモコン「CD-R600」で操作します。

³ 「KEH-P300」は、本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールします。そのため、別売のリモコン「CD-R66」の ☞ ボタンでは、ソースをテレビに切り換えられません。

⁴ 記憶番号 1 ~ 6 に、気に入ったチャンネルを、1チャンネルずつ手動で記憶させることができます。

⁵ プリセットメモリー機能では、記憶番号 1 ~ 6 までしか記憶させることができません。
 (BSSM 機能では、記憶番号 1 ~ 12 に記憶させることができます。)

⁶ 「DEX-P1」では、リモコンでもプリセットメモリー機能およびプリセット選局を操作することができます。

⁷ プリセット選局 (ダイレクト選局) 機能では、記憶番号 1 ~ 6 までしか呼び出すことができません。記憶番号 7 ~ 12 に記憶したチャンネルを呼び出したいときは、プリセット選局 (アップ/ダウン) 機能をお使いください。

機能名称		項目	メインユニット①	メインユニット②	
BSSM	18	モード	BSSM	FUNC 1	
		操作	本体	▲ (2秒以上) ¹⁴	▲ (2秒以上)
			リモコン ²	▲ (2秒以上) ¹⁴	▲ (2秒以上)
音声切り換え	21	モード	MPX	FUNC3	
		操作	本体	◀ / ▶	▲ / ▼
			リモコン ²	◀ / ▶	▲ / ▼
動作	 MAIN SUB M + S	 MAIN SUB M + S			
選局モード 切り換え	-	モード	SEEK	TRACK/MANUAL	
		操作	本体	◀ / ▶	◀ / ▶
			リモコン ²	◀ / ▶	◀ / ▶
動作	 AUTO (自動選局) MANU (手動選局)	 AUTO (自動選局) MANU (手動選局)			
自動選局/手動選局	15	操作	本体	◀ / ▶	
			リモコン ²	◀ / ▶	



次ページへつづく

メモ

⁸ プリセット選局 (ダイレクト選局) 機能では、記憶番号 1 ~ 6 までしか呼び出すことができません。記憶番号 7 ~ 12 に記憶したチャンネルを呼び出したいときは、プリセットスキャン選局機能をお使いください。

⁹ 「KEH-P300」ではプリセット選局 (アップ/ダウン) を行うことができません。

¹⁰ 「KEH-P300」は、ファンクションモードに切り換えると、モード表示 (例 “FUNC1”) が約 2 秒間点灯します。モード表示が消えた後は “ ” 表示が点滅して、ファンクションモードになっていることを知らせます。

¹¹ プリセットスキャン選局は、記憶番号 1 ~ 12 に記憶されているチャンネルを、約 8 秒間ずつ徐々に受信する機能です。見たいチャンネルをさがすときに便利です。

¹² モノラルの操作は行えません。

¹³ FUNC4 モードは、テレビの操作には使用しません。(このモードに切り換えて ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押しても、何も動作しません。)

¹⁴ ▲ ボタンを 2 秒以上押さなくても BSSM が動作するメインユニットがあります。

メインユニットでのテレビの操作 (つづき)

メインユニット ① 本機をテレビソースとしてコントロールするメインユニット¹ (☞ 28ページ)
 メインユニット ② 本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット
 (☞ 28ページ)

機能対応表 (つづき)

機能名称	☞	項目	メインユニット ①	メインユニット ②	
プリセット スキャン選局 ¹¹	-	モード	--- ¹⁵	FUNC1	
		操作	本体	--- ¹⁵	▲ / ▼
リモコン ²	--- ¹⁵		▲ / ▼		
プログラマブル ファンクション ¹⁶ ¹⁷	-	1モード に入る	本体	F (2秒以上)	F (2秒以上)
			リモコン ²	F (2秒以上)	F (2秒以上)
		2機能を 選ぶ	本体	◀ / ▶	◀ / ▶
			リモコン ²	◀ / ▶	◀ / ▶
		動作	本体	BSSM ▼ MPX (音声切り換え) ▲ MONO (モノラル受信) ²¹ A/M (選局モード切り換え)	FUNC1 (プリセットスキャン ¹¹ /BSSM) ▼ FUNC2 (モノラル受信) ▲ FUNC3 (音声切り換え) FUNC4 (使用しない) ¹⁸ A/M (選局モード切り換え)
			リモコン ²		
		3学習 させる	本体	▲	▲
			リモコン ²	▲	▲
		4操作 する	本体	PGM ¹⁹	PGM ²⁰
			リモコン ²	PGM ¹⁹	PGM ²⁰

メモ

¹ 「DEX-P1」はリモコンをメインに操作します。本体には無く、リモコンだけのボタンもあります。

² 「DEH-P505」, 「DEH-P500」, 「KEH-P400」, 「KEH-P303」, 「KEH-P300」は別売のリモコン「CD-R66」で操作します。
 「DEH-P5000」, 「KEH-P5000」, 「MEH-P5000」, 「KEH-P1000」は別売のリモコン「CD-R600」で操作します。

¹¹ プリセットスキャン選局は、記憶番号1～12に記憶されているチャンネルを、約8秒間ずつ次々に受信する機能です。見たいチャンネルをさがすときに便利です。

¹⁵ メインユニット①ではプリセットスキャン選局を行うことができません。

¹⁶ よく使う機能をPGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。

(初期設定では、メインユニット①はBSSM、メインユニット②「KEH-P300」はFUNC1が学習されています。)

¹⁷ 「DEH-P900」, 「DEH-P707」にはプログラマブルファンクションはありません。

¹⁸ FUNC4は、テレビの操作には使用しません。PGMボタンに学習させないでください。(学習させてPGMボタンを押しても、何も動作しません。)

メモ

¹⁸PGM ボタンを押すごとに、記憶させた機能の ON/OFF または設定が切り換わります。BSSM 機能の場合は、ボタンを2秒以上押すとBSSMが始まります。

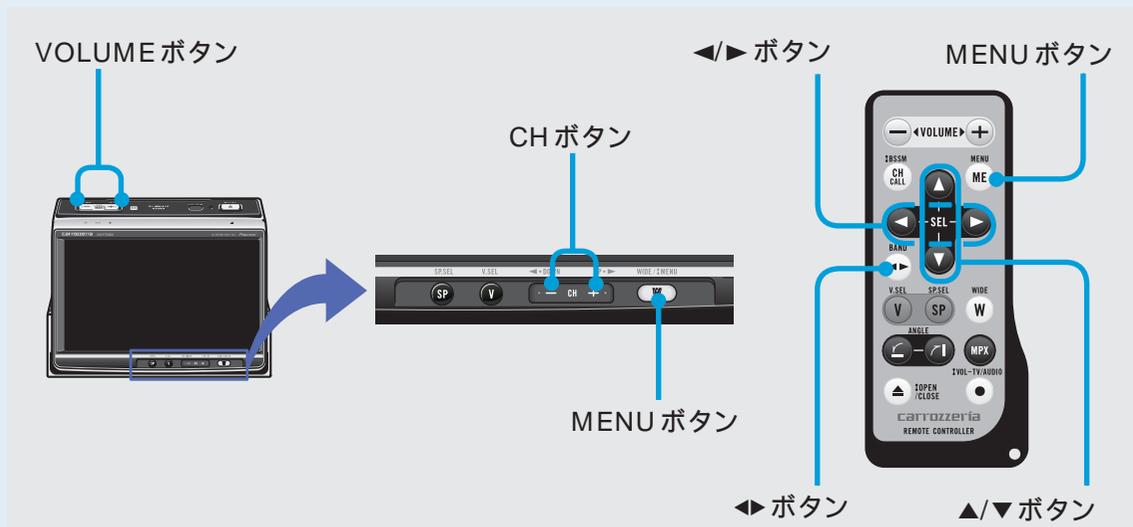
²⁰PGM ボタンを押すごとに、記憶させた機能の ON/OFF または設定が切り換わります。FUNC1 の場合は、ボタンを押している時間が2秒未満のときはプリセットスキャン選局がON/OFFし、2秒以上のときはBSSMが始まります。

²¹モノラルの操作は行えません。

設定メニューの基本的な操作

設定メニューでは、本機をより便利にお使いいただくために、各機能の設定や調整を行うことができます。まず最初に、設定メニューの基本的な操作を覚えておきましょう。

チェック 走行中は、設定メニューの操作はできません。



ここでは、例として、映像のコントラスト（明暗）を調整する場合の説明をしています。

1 設定メニューを表示する

本体

MENU ボタンを
2 秒以上押す



リモコン

MENU ボタンを
押す



MENU ボタンを押すごとに次のように設定メニューが切り換わります。

- 画質調整 画質や明るさの調整 (☞ 36、37 ページ)
- 入出力設定 映像入力/音声出力の設定 (☞ 38 ページ)
- FM トラंसミッター FM トラंसミッターの設定 (☞ 39、40 ページ)
- フラップ設定 自動開閉/セットバック機能の設定 (☞ 41 ページ)
- 解除

設定メニューが表示されます。

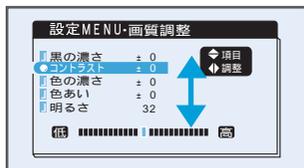


2 設定・調整項目を選ぶ

▲または▼ボタンを押す



押すごとに設定・調整項目が切り換わります。



設定・調整をやめるときは、◀▶ボタンを押します。

3 設定・調整を行う

◀または▶ボタンを押す



ボタンを押して、設定・調整を行います。



設定・調整内容が、切り換わります。

設定・調整をやめるときは、◀▶ボタンを押します。

4 設定・調整を終わる

◀▶ボタンを押す



設定メニューが消えます。

メモ

手順2の操作は、VOLUME ボタンを押しても行えます。

手順3の操作は、CH ボタンを押しても行えます。AUDIO MASTERをお使いの場合は、FM トランスミッターは表示されません。

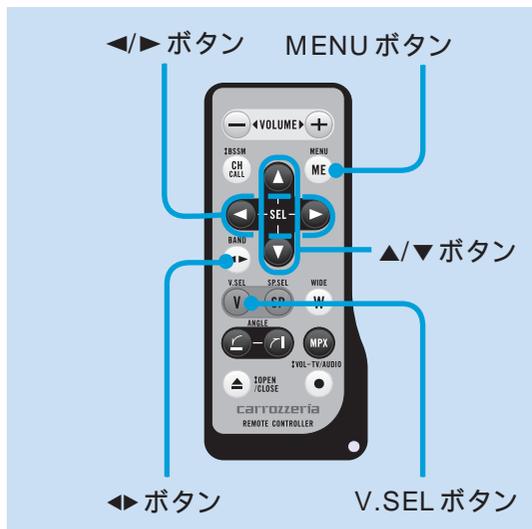
設定メニューの解除は、メインユニットの◀▶ボタンやメインユニットのモードに切り換えたりリモコンの◀▶ボタンでは操作できません。

映像の明暗や色を調整する

黒の濃さ / コントラスト / 色の濃さ / 色あい

映像の黒の濃さ、コントラスト (明暗)、色の濃さ、色あいを、お好みに合わせて変えることができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(34 ページ)



1 調整する映像を選ぶ

V.SEL ボタンを 調整する映像を表示させてください。



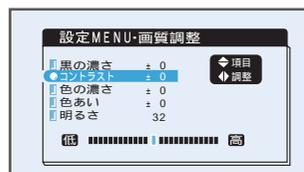
2 設定メニューの [画質調整] を選ぶ

MENU ボタンを押す



3 調整する項目を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す



4 調整を行う

◀または▶ ボタンを押す



それぞれ、-24 ~ +24 の範囲で調整できます。

メモ

テレビ、ビデオ、ナビゲーションの映像で、調整内容が別々に記憶されます。

車のライトがOFFのとき (明るい昼間) と、ONのとき (暗い夜間) でも、調整内容が別々に記憶されます。(“明るさ”は別々に記憶することはできません。)

ナビゲーションの映像では、色の濃さと色あいは調整できません。

“明るさ”の調整のしかたは (次ページ)

調整項目	◀ 側	▶ 側
黒の濃さ	黒が薄くなる	黒が濃くなる
コントラスト (明暗)	白黒の差が小さくなる (暗くなる)	白黒の差がはっきりする (明るくなる)
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がる	肌色が緑がる



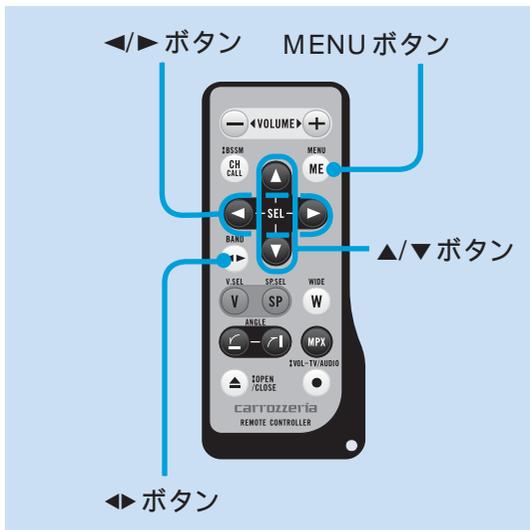
設定・調整をやめるときは、◀▶ ボタンを押します。

液晶画面の明るさを調整する

明るさ

周囲の明るさに合わせて、液晶画面を、自分の設定した明るさに自動的に調整することができます。この機能により、常に液晶画面を自分好みの明るさにしておくことができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(☞ 34 ページ)



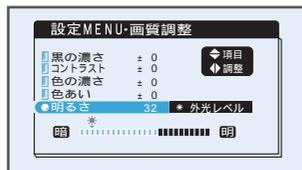
1 設定メニューの [画質調整] を選ぶ

MENU ボタンを押す



2 設定する項目の [明るさ] を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す



3 調整を行う

◀または▶ ボタンを押す



周囲の明るさ (☀)

+1 ~ +50 の範囲で調整できます。値が大きいくほど、液晶画面が明るくなります。



設定・調整をやめるときは、◀▶ ボタンを押します。

調整内容の記憶について

明るさは、明るい昼間 (☀:赤色) と暗い夜間 (🌑:黒色) の調整内容が別々に記憶されます。その間の明るさは、周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。

共通

いろいろな設定と調整

映像の入力と音声の出力の設定をする

入出力設定

ビデオ (VTR) などを RCA 映像/音声入力に接続した場合は、映像入力の設定を“ON”にする必要があります。また、カーステレオのスピーカーから出力される音声を切り換えることができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(34 ページ)



入出力設定について

映像入力

ビデオ (VTR) などを RCA 映像/音声入力に接続した場合は、必ずこの設定を“ON”にしてください。

音声出力

カーステレオのスピーカーから出力される音声を切り換えます。映像とは別の音声を出力することもできます。

NAVI MASTER モードの場合は、ナビゲーションの音声ソースを“TV”に、AUDIO MASTER モードの場合は、テレビにしないと、「音声出力」は選ぶことができません。

メモ

¹ 映像入力の設定がONになっていないときは、VTRには切り換わりません。

CD-ROM ナビゲーションをお使いの場合は、ナビゲーションの音声は、カーステレオのスピーカーからは出力されません。内蔵スピーカーから出力してください。

RCA 映像/音声入力にナビゲーションを接続した場合は、ビデオとして扱われます。

RCA 映像/音声入力に何も接続していないときは、映像入力を“OFF”にしてください。

1 設定メニューの [入出力設定] を選ぶ

MENU ボタンを押す



2 設定する項目を選ぶ

▲または▼ボタンを押す



3 設定を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



調整項目	設定内容
映像入力	ON ビデオを接続した場合
	OFF ビデオを接続していない場合
音声出力	TV テレビの音声
	GUIDE ナビゲーションのガイド操作
	VTR ビデオの音声 ¹



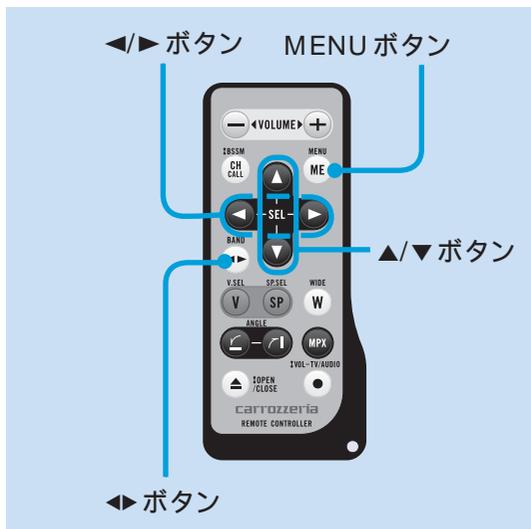
設定・調整をやめるときは、◀▶ボタンを押します。

音声をFM電波で飛ばす

FMトランスミッターの設定

テレビ、ビデオの音声やナビゲーションのガイド音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して聞くことができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(34 ページ)



FM付きカーステレオでの操作

カーステレオをFMに切り換え、受信周波数を手順3で選んだ周波数に合わせると、本機の音声が車のスピーカーから出力されます。(手順3で77.5 MHzを選んだときは、FMの周波数を77.5 MHzに合わせてください。)

メモ

FMトランスミッターを使用して、FM付きカーステレオで音声を聞いた場合、送信用アンテナの取り付け場所やラジオのアンテナによっては、ノイズが出たり、感度が落ちる場合があります。

FMトランスミッターを使用したときに、他のFM放送と混信する場合は、手順3で他の送信周波数を選んでください。

FMトランスミッターの実用到達距離は約2 mです。(法律により電波の強さが規制されています。)

AUDIO MASTERモードの場合は、IP-BUSケーブルで本機とカーステレオを接続することができます。この場合、FMトランスミッターの設定はできません。(詳しくは 取付説明書)

1 設定メニューの[FMトランスミッター]を選ぶ

MENU ボタンを押す



2 [周波数] を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す



3 送信周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



OFF、76.4 ~ 78.4 MHzの(0.1MHzずつ)中から選ぶことができます。

FMトランスミッターを使わないときは、必ずOFFを選んでください。



設定・調整をやめるときは、◀▶ ボタンを押します。

FM トランスミッターのレベルを調整する

FM トランスミッターのレベル調整

カーステレオで音声を出力させたとき、通常のFM放送と音量が違う場合は、FM トランスミッターのレベルを調整してください。(通常は調整しなくてもお使いいただけます。)

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。( 34 ページ)



1 設定メニューの[FM トランスミッター] を選ぶ

MENU ボタンを押す



2 [レベル] を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す



3 調整を行う

◀または▶ ボタンを押す



-6 ~ +6 の範囲で調整できます。

カーステレオのFM放送に対して、本機の音量が小さいと感じたときは、レベルを大きくしてください。

カーステレオのFM放送に対して、本機の音量が大きいときや歪みを感じたときは、レベルを小さくしてください。



設定・調整をやめるときは、◀▶ ボタンを押します。

メモ

[FM トランスミッター] の設定 ( 39 ページ) がOFFになっているときは、[レベル] を選ぶことはできません。

モニターの立ち上げの設定をする

自動開閉 / セットバック機能

自動開閉機能やセットバック機能のON/OFFを設定します。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(34 ページ)



1 設定メニューの [フラップ設定] を選ぶ

MENU ボタンを押す



2 設定する項目を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す



3 設定を行う

◀または▶ ボタンを押す



自動開閉

オートマチック車のシフトレバーが“P” (パーキング) の位置のとき、自動開閉機能でモニター部がシフトレバーに当たってしまう場合や、モニター部の立ち上げを自動的に行いたくない場合は、自動開閉の設定を“OFF”してください。

セットバック

画面を後ろに下げて使用するとき、セットバックの設定を“ON”にしてください。セットバック機能は、モニター部を立ち上げた後に、自動的にモニター部を後ろに下げる機能です。

メモ

セットバック機能でモニター部を本体に押し付けたときのモニター部の角度は、セットバック機能を解除したときより下向きになります。

セットバック時に、モニター部が車のボタンなどの突起物に当たると、角度調節がうまくできない場合があります。このような場合は、セットバックの設定を“OFF”にしてください。

設定・調整をやめるときは、◀ ▶ ボタンを押します。

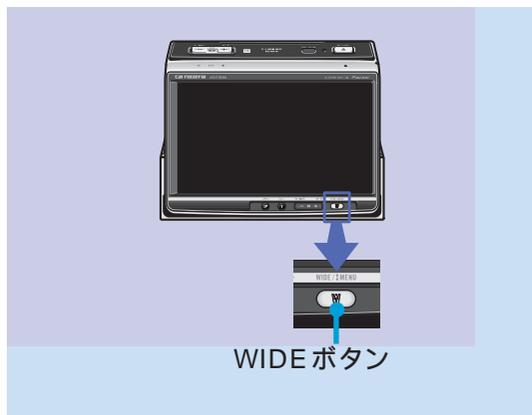
共通操作

いろいろな設定と調整

ワイド画面の拡大のしかたを変える

4 : 3の映像を16 : 9の映像に拡大するときの方法を選ぶことができます。通常のテレビ番組を見るときや、映画を見るときなど、お好みに合わせて切り換えてください。

チェック 最初に映像を表示させてください。(12 ~ 17、22 ~ 27 ページ)



ワイドモードを切り換える

WIDE ボタンを
押す
本体



押すごとにワイドモードが切り換わります。

リモコン



押すごとにワイドモードが切り換わります。



フル

ジャスト

シネマ

ズーム

ノーマル

メモ

映像で、設定内容が別々に記憶されます。

映像画面のときに、ここで設定したワイドモードの映像になります。

ナビゲーションの映像は、ここでの設定に関係なく常にフルになります。

設定メニュー (34 ページ) を表示しているときは、ここでの設定に関係なく常にフルになります。

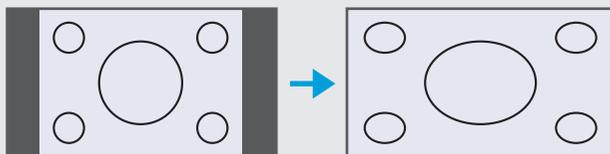
通常のテレビ放送の番組をフルで見るなど、映像比率が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能(フル、ズームなど)を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモード (フル/ジャスト/シネマ/ズーム/ノーマル)

フル

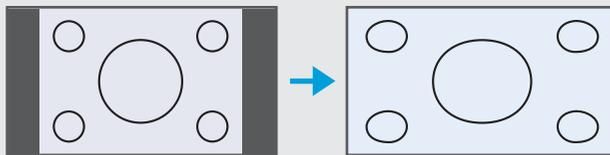
4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。



テレビの4 : 3 の映像 (通常の映像) が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。

ジャスト

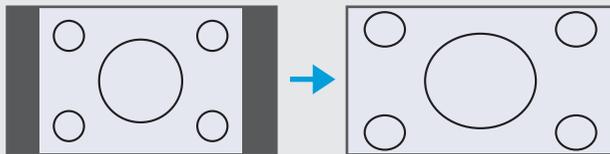
中央付近は少し、両端ほど横に拡大します。



4 : 3 の映像を違和感が少ない状態でワイド画面を楽しむことができます。

シネマ

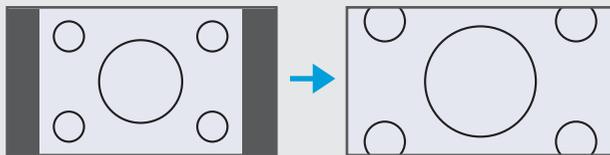
フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。



字幕が映像の外にある、映画サイズの映像 (横長の映像) を楽しむモードです。

ズーム

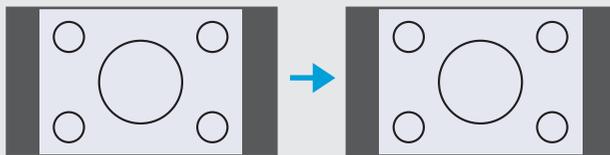
4 : 3 の映像の上下、左右を同じ比率で拡大します。



映画サイズの映像 (横長の映像) を楽しむモードです。

ノーマル

4 : 3 の映像をそのまま表示します。



通常の映像と同じですので、違和感がありません。

この映像にはこのワイドモードをおすすめします

テレビの4 : 3 の映像
(通常の映像)



フルまたはジャスト
(シネマやズームにすると、映像の上下が欠けてしまいます。)

映画サイズの映像
(横長の映像)



ズーム
(映画サイズの映像は、上下に黒帯が付いていますので、ズームが適しています。)

字幕が映像の外にある、映画サイズの映像 (横長の映像)



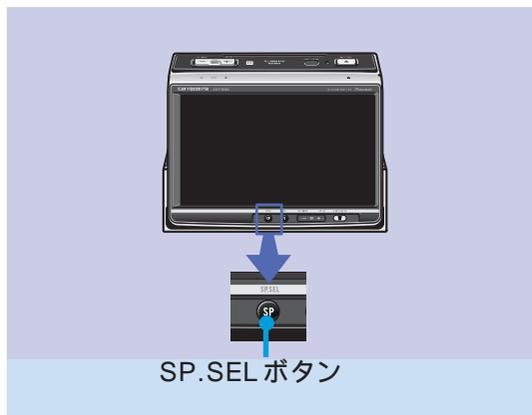
シネマ
(ズームでは欠けてしまう、映像の外の字幕を表示できます。)

内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ

スピーカーセレクト

内蔵スピーカーから出力される音声だけを、切り換えることができます。映像とは別の音声も出力することもできます。

チェック 最初に映像を表示させてください。(12 ~ 17、22 ~ 27 ページ)



内蔵スピーカーの 音声を切り換える

SP.SEL ボタン
を押す

本体



押すごとに音声
が切り換わり
ます。

リモコン



押すごとに音声
が切り換わり
ます。



メモ

¹ 映像入力の設定がONになっていないときは、VTRには切り換わりません。(38 ページ)

² ナビゲーションの電源がOFFまたは接続されていないときは、「OFF」と表示されます。

RCA映像/音声入力にナビゲーションを接続した場合は、ビデオとして扱われます。

テレビの音声やDVDナビゲーションのガイド音声は、内蔵スピーカー(モノラル出力)以外に、コーステレオのスピーカー(ステレオ出力)からも出力することができます。(38 ページ)

CD-ROMナビゲーションをお使いの場合は、ナビゲーションの音声は、コーステレオのスピーカーからは出力されません。内蔵スピーカーから出力してください。

ナビゲーションが電源がONのときは、音声をTVやVTRにしても、ナビゲーションのガイド音声および操作音がミキシングされて出力されます。

DVDナビゲーションのオーディオミュート設定で、ガイド音声出力時および音声認識時のミュートのしかたを設定することができます。詳しい内容は、DVDナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

共通

いろいろな設定と調整

モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

モニター部に直射日光の当たる状態で長時間放置しておく、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、本体にモニター部を収納し、できるだけモニター部に直射日光が当たらないようにしてください。



本機は次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

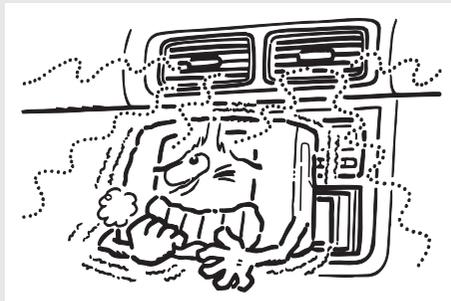
モニター部の液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

モニター部を立ち上げたときに、モニター部の上に物を置かないでください。また、モニター部の角度調節や立ち上げ、収納を手動で行わないでください。モニター部に強い力が加わると故障することがあります。



キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

モニター部を立ち上げたときに、モニター部がエアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニター部に当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴が付いて故障する恐れがあります。また、クーラーの冷気によりモニター部が冷やされると、画面が暗くなったり、内部に使われている小型蛍光管の寿命が短くなる可能性があります。



モニター部の立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物がはさまると、モニター部が動かなくなることがあります。モニター部が動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いてもう一度▲ボタンを押してください。



助手席にエアバックなど安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

液晶画面について

モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。

時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射して映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

お手入れについて

画面に付いたホコリやモニター部の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター部の内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。(寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。)

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と

と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても

直らないときは

本機をリセットしてください。(☞ 次ページ)

それでも

直らないときは

保証書とアフターサービス(☞ 50ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。 画面が正しく表示されない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 取付説明書)
	モード切り換えスイッチの設定が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに切り換えてください。(☞ 取付説明書)
	DVDナビゲーションの電源が入っていない (NAVI MASTERモードのとき)	DVDナビゲーションの電源が入っていないと、本機は動作しません。DVDナビゲーションの電源を入れてください。(☞ DVDナビゲーションの説明書)
車のエンジンスイッチをOFFにしてもモニター部が収納されない。	自動閉鎖機能が解除されている。	自動閉鎖機能をONにしてください。(☞ 41ページ)
映像の色が薄い。または濃い。	[色の濃さ]または[色あい]の調整が適切でない。	[色の濃さ]を調整してください。(☞ 36ページ)
映像の色合いがおかしい。		[色あい]を調整してください。(☞ 36ページ)
映像が明るい。映像が暗い。	[コントラスト]の調整が適切でない。	[コントラスト]を調整してください。(☞ 36ページ)
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がキザキザに表示される	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—
液晶画面が暗い。	[明るさ]の調整が適切でない。	[明るさ]を調整してください。(☞ 37ページ)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなる場合がありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
音声が切り換わらない。 (NAVI/AUDIO MASTERモードのとき)	メインユニットのソースが適切でない。	メインユニットのソースを切り換えてください。(☞ メインユニットの取扱説明書)
音が出ない。 音が小さい。	カーステレオの音量を下げています。	カーステレオの音量を調節してください。(☞ カーステレオの説明書)
	FMトランスミッターの設定が“OFF”になっている。 (TV MASTERモードのとき)	FMトランスミッターの送信周波数を“OFF”以外に切り換えてください。(☞ 39ページ)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。 (TV MASTERモードのとき)	本機の送信周波数とFM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。(☞ FM付きカーステレオの説明書)
カーステレオのラジオが聞きづらい。	FMトランスミッターを使用しないときに、FMトランスミッターの設定“OFF”以外になっている。	FMトランスミッターを使用しないときは、FMトランスミッターの設定“OFF”にしてください。(☞ 39ページ)

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”という 雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 (☞ 13、15、17ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 (☞ 13、15、17ページ)
	周りに障害物があるなど、受 信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が 少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。(☞ 13、15、17ページ)

リセットについて

リセットボタンについて

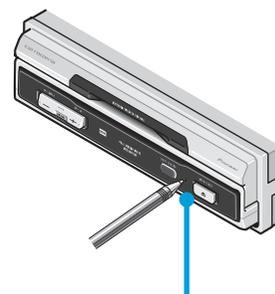
リセットボタンは、本機のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わった後。
- モード切り換えスイッチを切り換えたとき。
- 本機が正しく動作しないとき。
- 画面が正しく表示されないとき。

なお、リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の記憶（チャンネルのプリセットや映像のコントラストの設定など）が消去されますので、もう一度セットし直してください。

リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は、本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

TV チューナー部

受信チャンネル	: VHF 1 ~ 12 ch、UHF 13 ~ 62 ch
実用感度	: 20 dBf (75 、モノラル音声)
映像S/N	: 40 dB以上 (65 dBf 映像入力、 白100%)
映像雑音制限感度	: 51 dBf
クロストーク	: 主 副 35 dB 以上 副 主 40 dB 以上
S/N	: 60 dB (IHF-Aネットワーク)
ステレオ セパレーション	: 30 dB (1 kHz)
外部映像 入力レベル	: 1 V _{p-p} /75
外部音声 最大入力レベル	: 1 V/22 k
外部音声 最大出力レベル	: 1 V/1 k
アンテナ入力	: 4 chダイバーシティ
FM トランスミッ ター使用周波数	: 76.4 ~ 78.4 MHz

モニター部

画面サイズ	: 7.0インチワイド (有効表示 面積: 87 × 154 mm)
画素数	: 336,960画素 (234 × 1,440)
方式	: TFT アクティブマトリクス方式、 透過型
エッジライト	: 冷陰極コ字管
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80
内蔵スピーカー	: 36 mm

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 2.0 A

外形寸法

取付寸法	: 178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm
ノーズ寸法	: 172 (W) × 47 (H) × 20 (D) mm
モニター部	: 171 (W) × 128 (H) × 24 (D) mm
リモコン	: 40 (W) × 92 (H) × 6 (D) mm

質量

本体	: 1.8 kg
リモコン	: 20 g (電池含む)

付属品

リモコン	: 1
リチウム電池 (CR2032)	: 1
コード類	: 1
取付化粧パネル	: 1式
取付ネジ類	: 1
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口の ご案内	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

本機は日本国内専用です。放送規格の違う外国ではご使用になれません。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口  0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口  0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口  0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99C00F0K01 > < CRA2755-B >